

記入例

現況診断が完了した日から30日以内又は当該年度の3月31日のいずれか早い日まで

年 月 日

糸魚川市長 様

申請者

住所 〇〇県〇〇市

氏名 □□ □□

印

交付決定通知書の
日付及び文書番号

実績報告書

令和〇年〇月〇日付け企第●●●号で補助金等の交付決定のあった補助事業等が完了したので、糸魚川市補助金等交付規則の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 補助事業等の名称 糸魚川市空き家活用事業
(補助金区分：空き家現況診断支援事業補助金)
- 補助金等の交付決定額 金 **28,000** 円
- 補助事業等の対象事業費 金 **56,789** 円
- 消費税仕入控除税額の取扱い

交付決定通知書の金額

現況診断にかかった費用

- 交付申請時に消費税仕入控除税額を減額して交付申請を行った。
- 課税事業者となっていない、又は消費税仕入控除税額が確定していないため、実績額から当該補助金に係る消費税仕入控除税額を減額していない。
- 実績報告時に消費税仕入控除税額が確定したため、実績額から当該補助金に係る消費税仕入控除税額を減額した。

該当するものに
○をつける

(積算) 補助金交付決定額 円
当該補助金に係る消費税仕入控除税額 円
差引補助金額 円

- 簡易課税事業者となっているため、交付申請額は、当該補助金に係る消費税仕入控除税額を減額していない。

(注) (1)、(2)、(3)、(4)のいずれかに○を付け、(3)の場合には積算を記入し、積算資料を添付すること。

- 補助事業等の完了年月日 年 月 日
- 補助事業等の経過及び成果の概要

支払い等すべてが完了した日

例) 空き家の現況診断を行い、空き家の状態が把握でき、活用しやすくなった。

- 添付書類
 - 収支決算書
 - 補助対象経費の証拠書類(領収書等の写し)

空き家の現況診断をしたことによる成果などを記載する。